

令和6年度 教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	21	学校名	大垣北高等学校
------	----	-----	---------

学校教育目標 (教育方針)	人間尊重を基調とし、智・徳・体の調和のとれたたくましく豊かな人間性を育み、高い志とグローバルな視野をもって人類・社会に貢献できる有能な人材を育成する。そのため、“誠実・友愛・努力”を本校の生活信条とし、その具現に努める。	
3つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を育てたいか 【GP】	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と教養をもち、グローバルリーダーとして国際社会の平和と発展に貢献できる生徒 豊かなコミュニケーション能力と高い倫理観をもち、多様な人々と協働することができる生徒 主体性と積極性をもち、自らが考えて地域や国の未来を切り拓いていくことができる生徒
	生徒をどう育てるか 【CP】	<ul style="list-style-type: none"> グローバルな視野と幅広い教養を育み、持続可能な社会の実現に貢献できる資質・能力を育成する探究活動の推進 基本的な知識の確実な習得とともに、主体的、能動的に学び合い、論理的な思考力や考察力を高める授業の実施 智・徳・体の調和のとれた、自主的で、たくましく豊かな人間性を育成する行事や生徒会活動、課外活動の実施
	どんな生徒を待っているか 【AP】	<ul style="list-style-type: none"> 地域や世界の様々な事象に関心をもち、自ら課題を発見し、その解決に向けて誠実に探究していける生徒 授業はもちろん、行事や部活動などどの方面にも積極的に取り組むとともに、友愛のこころをもって協働的に取り組める生徒 知的好奇心が旺盛で、主体的な学びを通して、幅広い教養を身に付けるよう不断の努力ができる生徒
学校の抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の主体的な学習態度の育成と教科横断的・探究的な深い学びへの導き（教務・探究） 卒業後の生き方と社会的役割を意識したキャリア教育の充実と主体的な進路意識の向上（進路支援・図書情報館） 自らの価値や存在意義を肯定できる感情の醸成と自他を互いに尊重し助け合う態度の涵養（生活充実・教育相談・学年） 学校行事等、個々の生徒の協力による自主的積極的な取組における、人とつながり関わる力の向上のための支援（生徒） 	
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標
	学習指導	<p>生徒が自ら課題を発見し克服するために、意欲を生み出す授業を展開する。</p> <p>ICTを活用しデータサイエンス的なアプローチによって、深い学びを導く探究活動を展開する。</p> <p>デジタル分野の人材育成に耐えうる環境設備を整備し、対話的・協働的な学びの充実を図る。</p>
	進路指導	<p>生徒の視野を広げ、主体的に自己の進路を選択・決定できる能力を高められるよう、個々の取組を適切かつ計画的に支援する。</p> <p>多方面で活躍する卒業生の活躍に触れるとともに、効果的な説明会や進路面談の場を設け、学習と将来の進路目標をつなぐキャリア教育を充実させる。</p>
	生徒指導	<p>一人一人の「こころのサイン」や身体的な変化を見逃すことなく、個に応じた支援を積極的に行う。</p> <p>不登校傾向の生徒や困り感をもった生徒に対し、早期発見に努め、初期段階から組織的対応を行い、本人及び保護者に寄り添った継続的な支援に努める。</p>
	特別活動	<p>北高祭、清流の国ぎふ総文、創立130周年記念事業など、多様な他者と協働し、合意形成を図ったり意思決定したりする体験を通じ、経験値を高める。</p> <p>部活動ガイドラインに沿って、より効果的で持続可能な部活動を目指し、より自立的で自信につながる活動とする。</p>

年度目標				年度末評価(自己評価)			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	県教育振興基本計画で の位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
学習指導	・全職員による重点目標の共有と確実な実践 ・授業アンケートの結果を活かした授業改善	8	施策Ⅱ-8	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒による授業アンケート ・研究授業に対する講評 ・生徒からのアンケート ・外部講師の評価 ・学会、研究会等への参加率 ・授業時の活用促進アンケート 			
	・外部講師による講話のフィードバックを活かした探究的な学びの深化	9	施策Ⅱ-9				
	・データサイエンス分野や発表機会の充実等を柱とする探究活動の深化	11	施策Ⅱ-11				
	・探究活動の深化のための環境整備と効果的な活用	9	施策Ⅱ-9				
進路指導	・大北先輩講座等、卒業生を中心とする外部講師からの講話を通じたキャリア教育の充実	11	施策Ⅱ-11	<ul style="list-style-type: none"> ・事後アンケート ・生徒及び保護者等を対象とするアンケート ・生徒及び保護者等を対象とするアンケート 			
	・新課程入試に対応した指導（進学説明会や個別懇談）の充実	13	施策Ⅱ-13				
	・図書館やネットを活用した進路探究活動の推進	8	施策Ⅱ-8				
生徒指導	・スクールカウンセラー・スクール相談員・スクールソーシャルワーカーとの連携強化	3	施策Ⅰ-3	<ul style="list-style-type: none"> ・SC等活用事業報告書 ・心のアンケート ・生活実態調査 ・生徒及び保護者等を対象とするアンケート ・認知したいじめのうち、解消したものの割合 			
	・早期段階でのケース会議開催と支援方針の決定						
	・全職員による日常的な観察と声掛けの充実	7	施策Ⅰ-7				
	・心のアンケートや迷惑調査における生徒のSOSの把握、迅速な情報共有と行動連携	1	施策Ⅰ-1				
特別活動	・生徒会からの適切な情報発信による学校行事の円滑な遂行	1	施策Ⅰ-1	<ul style="list-style-type: none"> ・行事後に行うアンケート ・参加者事後アンケート ・部活動アンケート ・部活動実施報告 ・生徒からのアンケート 			
	・清流の国ぎふ総文や創立130周年記念事業への積極的な関与の促進	1	施策Ⅰ-1				
	・適切で効率的な部活動の実施	25	施策Ⅳ-25				
	・海外研修の再開	11	施策Ⅱ-11				

来年度に向けての改善方策等

実施日：令和7年 月 日 学校関係者評価

実施日：令和7年 月 日